

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/7 (3/31との比較)	4/7 (3/31との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.60% (▲0.03)	82.87円 (▲0.92%)	+2.0% 2016年4Q	0.50%	輸出が減少したことから国際商品貿易が悪化した一方、雇用統計は総じて堅調な内容。米軍によるシリア攻撃を背景に供給懸念から原油価格が上昇する中、カナダドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	景気回復の度合いを探る状況下、中銀は政策金利を据え置くと予想される。米国の金融政策の先行きを巡る見方や地政学リスクも意識される中、国債利回りはレンジ内での推移となるとみられる。
	Aaa	金利上昇	金利上昇	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB	9.90% (+0.03)	35.31円 (▲1.04%)	-2.5% 2016年4Q	12.25%	インフレ率は前年比で低下基調を継続。債券市場は動意に欠ける展開となる中、国債利回りは小幅上昇。政治的不透明感などから、レアルは対米ドル、対円ともに下落。	12日から通貨政策委員会が開催される予定。市場では政策金利の引き下げを予想。債券利回りには低下圧力がかかりやすい状態も、注目の年金改革法案の不透明感などから債券・為替市場は上値の重い展開を予想。
	Ba2	金利横ばい	金利横ばい	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.99% (+0.05)	5.95円 (+0.05%)	+2.4% 2016年4Q	6.50%	インフレ率は伸びを拡大。中東地域における地政学リスクの高まりもあり、国債利回りは上昇。ペソは対米ドル、対円ともに上昇。	鉱工業生産や既存店売上高などの発表を予定。足元、低下基調にある既存店売上高の動向には注目。NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉を見据え、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	金利横ばい	金利横ばい	→ 景気安定	↑ 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/7 (3/31との比較)	4/7 (3/31との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.55% (▲0.15)	83.30円 (▲1.98%)	+2.4% 2016年4Q	1.50%	貿易収支は市場予想を上回る内容。中銀は政策金利を据え置き。米軍のシリア攻撃で地政学リスクが意識される中、国債利回りは低下。オーストラリアドルは対円で下落。中銀高官は住宅市場の過熱に警戒を示す。	企業景況感や雇用統計などの公表が予定。引き続き中国と米国の政治経済動向にも加え、地政学リスクなどにも注目が集まる中、国債利回りはレンジ内での動きが予想される。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	3.06% (▲0.13)	77.09円 (▲1.24%)	+2.7% 2016年4Q	1.75%	隔週で開催される酪農品入札の落札価格は小幅上昇。一方、発表された経済指標は景気に明確な方向性が見られない状況が継続。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	景気拡大局面が続いているものの、そのペースはやや鈍っている模様。住宅売上高や製造業PMIなどの発表が予定されるが、景気に対する見方を大きく変えるには至らない見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.59% (▲0.05)	12.85円 (▲0.59%)	+1.8% 2016年4Q	0.50%	製造業PMIが上昇した一方、鉱工業生産指数は伸び悩み。原油価格は上昇したものの、景況感の改善には至らず、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	石油関連産業の活動が抑制される中、景気拡大ペースが加速する展望が描きづらい環境。インフレ率などの発表を予定。コアインフレ率の低迷が続く場合、追加金融緩和を予想する声が大きくなる可能性があると思われる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期価格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/7 (3/31との比較)	4/7 (3/31との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.94% (▲0.00)	8.09円 (▲2.55%)	+0.7% 2016年4Q	7.00%	財務相の更迭を受け、格付機関S&Pが同国の外貨建て債務格付けを引き下げた。フィッチも同国の債務格付けを引き下げた。国債利回りはほぼ変わらず。ランドは対米ドル、対円ともに下落。	大統領の閣僚人事に対して現政権の支持団体から退陣要求の声が上がるなど政治的リスクの高まりを受けて、債券・為替市場ともに上値の重い展開を予想。経済指標は製造業生産などの発表を予定。
	Baa2	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BB+	6.89% (+0.04)	0.83円 (▲0.24%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	製造業PMIや消費者信頼感指数は改善。外貨準備高も上昇。インフレ率は総合・コアともに鈍化。米国のシリア攻撃などを背景に、投資家のリスク回避的な動きから、ルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	米国によるシリア攻撃によって、一時的にリスク回避的な動きとなるが、基本的には長引く材料にならないと考える。S&Pによる格上げへの期待が根強い中、債券・為替市場ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.86% (+0.10)	1.73円 (+0.58%)	+7.0% 2016年4Q	6.25%	中銀は金融政策決定会合にてリバースレポ金利を引き上げ、主要な政策金利であるレポ金利は据え置いた。同行の決定を受けて、国債利回りは上昇。ルピーは対米ドル、対円ともに上昇。	鉱工業生産やインフレ率などの発表を予定。GST（物品・サービス税）の導入に向けての審議が順調な進捗を見せるなど、国内改革の進展が市場で好感されやすく、債券・為替市場ともに堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債務格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

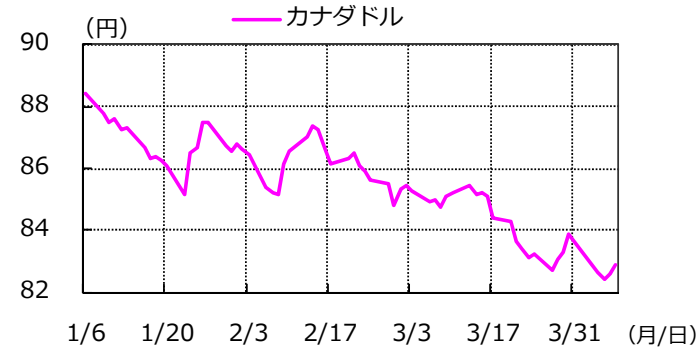
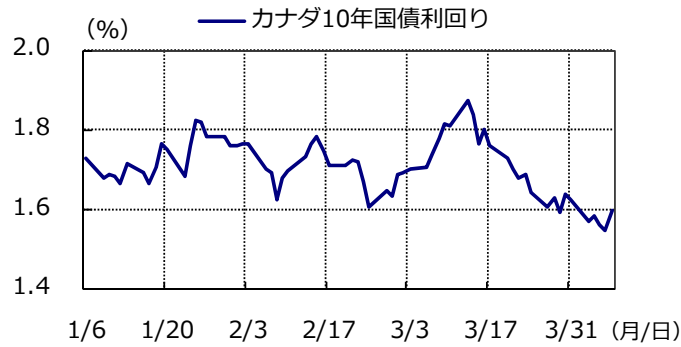
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

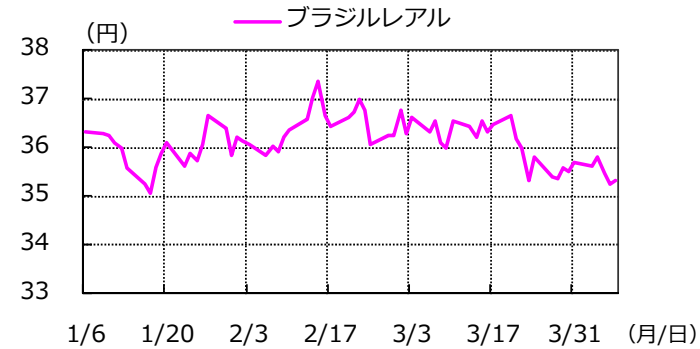
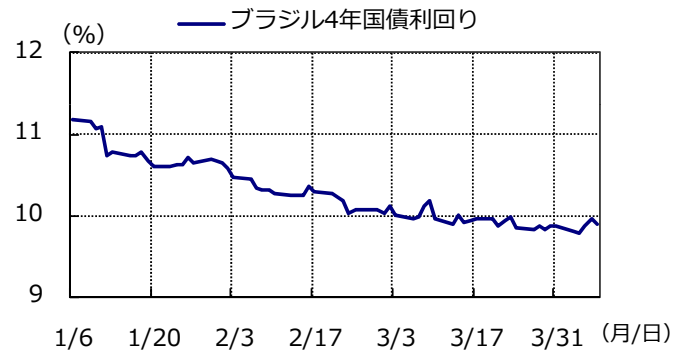
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/1/6～2017/4/7

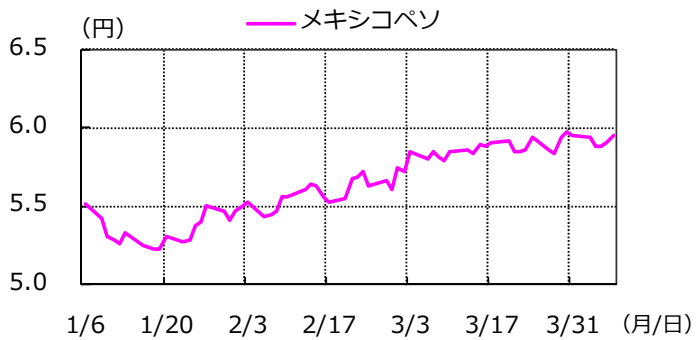
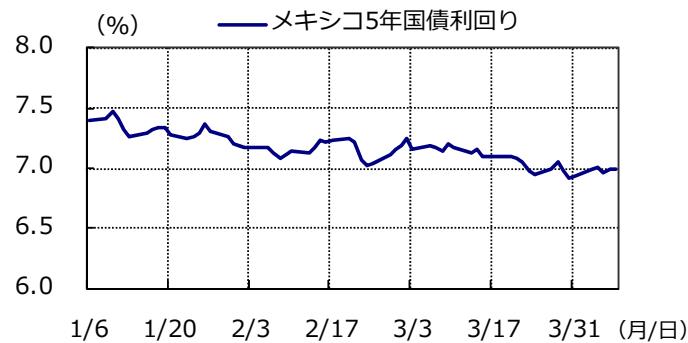
カナダ



ブラジル



メキシコ

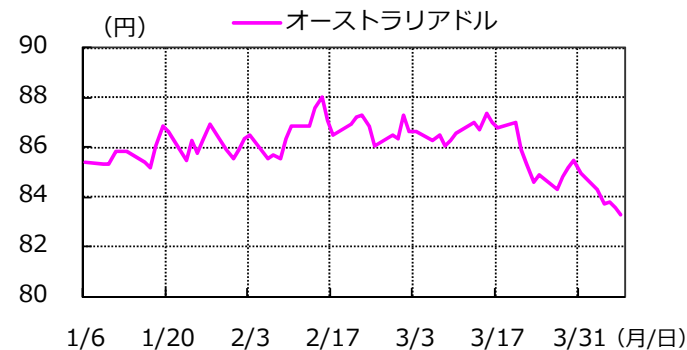
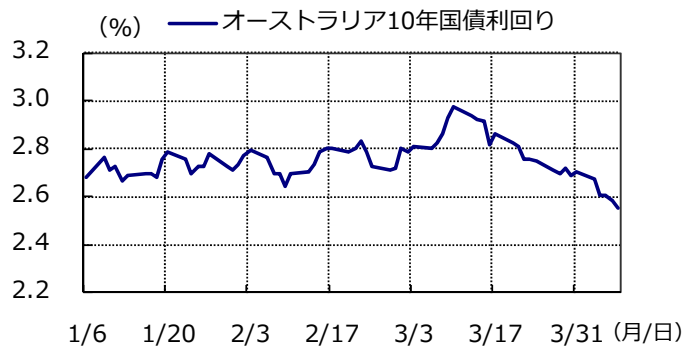


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

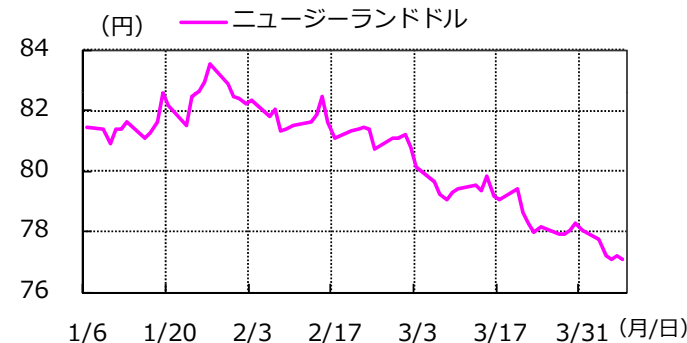
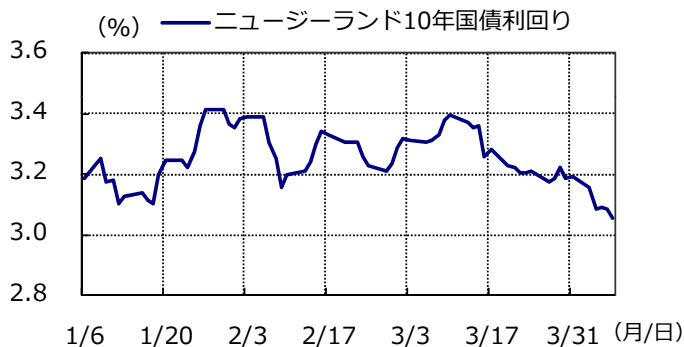
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/1/6～2017/4/7

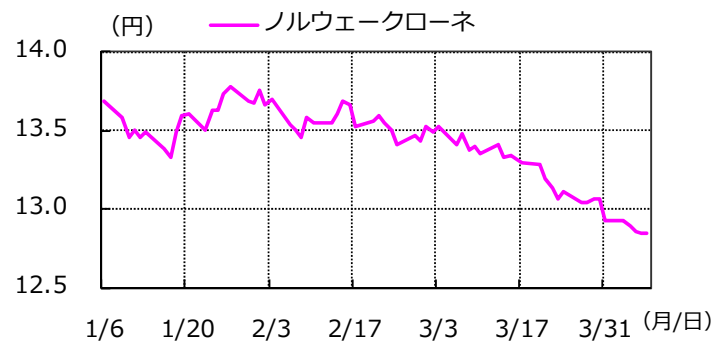
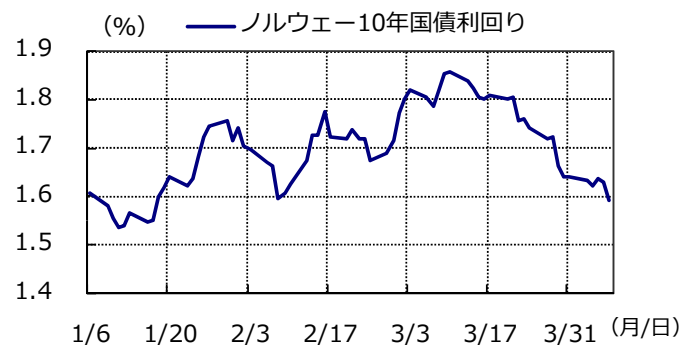
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

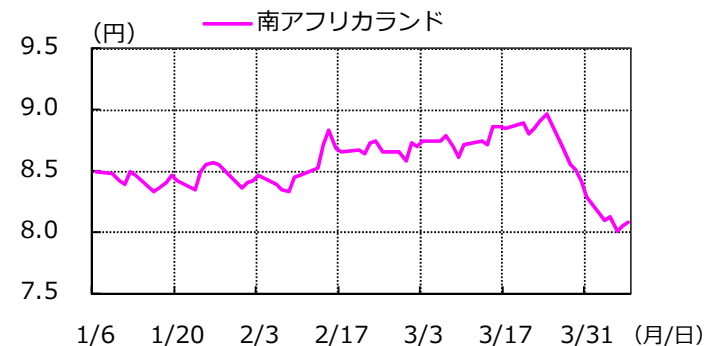
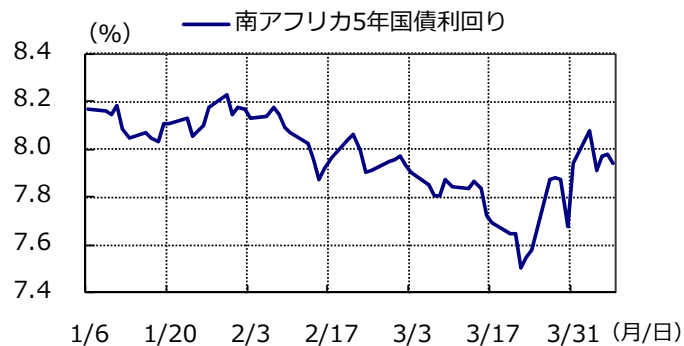


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

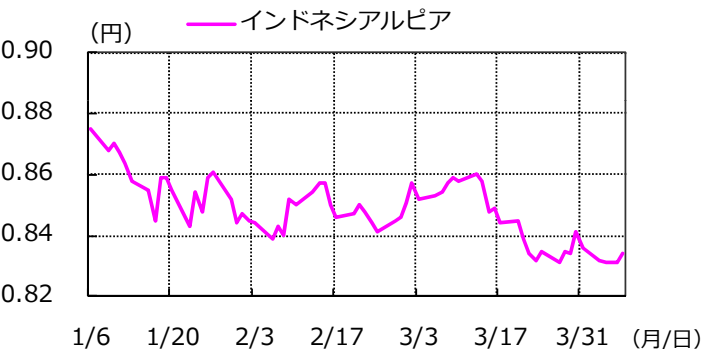
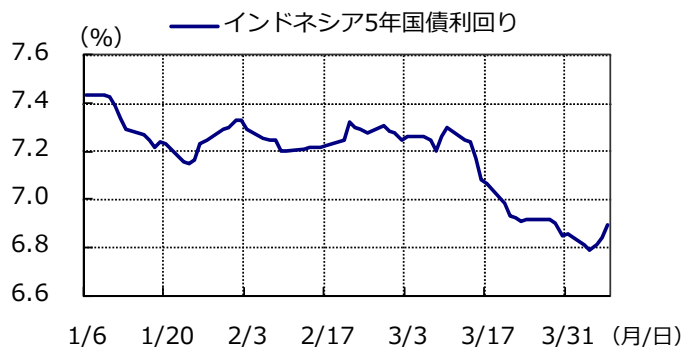
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/1/6～2017/4/7

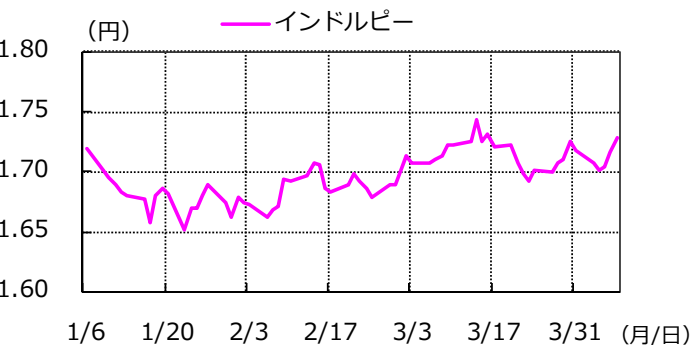
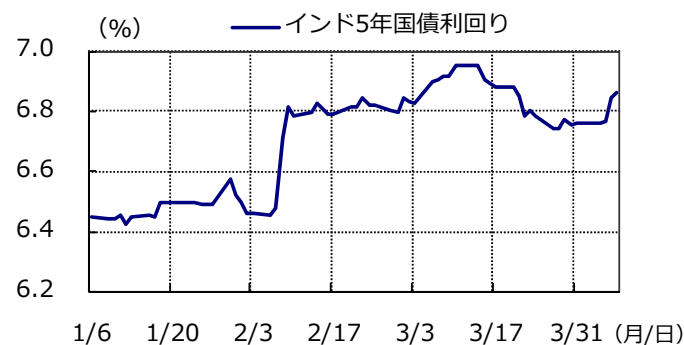
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。